

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【公開番号】特開2002-155209(P2002-155209A)

【公開日】平成14年5月28日(2002.5.28)

【出願番号】特願2000-355764(P2000-355764)

【国際特許分類】

**C 0 8 L 101/00 (2006.01)**

**C 0 8 K 5/17 (2006.01)**

**C 0 8 L 33/10 (2006.01)**

**C 0 8 L 83/04 (2006.01)**

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

C 0 9 D 133/10 (2006.01)

C 0 9 D 157/00 (2006.01)

C 0 9 D 183/04 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 5/17

C 0 8 L 33/10

C 0 8 L 83/04

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 133/10

C 0 9 D 157/00

C 0 9 D 183/04

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ラジカル重合性不飽和単量体を水性媒体中で乳化重合させた後に、式 $(R^1)_n-Si-(R^2)_{4-n}$  [式中nは1～3の整数。R<sup>1</sup>は炭素数1～16のアルキル基、シクロアルキル基、アリール基、；R<sup>2</sup>は1～8個の炭素原子を有するアルコキシ基、水酸基]で表される非ラジカル重合性有機珪素化合物を加水分解縮合させると同時に光安定剤を水性樹脂エマルジョン中の固形分の0.1～5重量%の範囲で加えて得られる水性樹脂エマルジョン。

【請求項2】 ラジカル重合性不飽和単量体を水性媒体中で乳化重合させた後に、光安定剤を水性樹脂エマルジョン中の固形分の0.1～5重量%の範囲で溶解させた、式 $(R^1)_n-Si-(R^2)_{4-n}$  [式中nは1～3の整数。R<sup>1</sup>は炭素数1～16のアルキル基、シクロアルキル基、アリール基、；R<sup>2</sup>は1～8個の炭素原子を有するアルコキシ基、水酸基]で表される非ラジカル重合性有機珪素化合物を加水分解縮合させて得られる水性樹脂エマルジョン。

【請求項3】 非ラジカル重合性有機珪素化合物の固形分が、水性樹脂エマルジョン中の固形分の1～50重量%である請求項1または2に記載の水性樹脂エマルジョン。

【請求項4】 光安定剤がヒンダードアミン系である請求項1～3のいずれか1項に記載の水性樹脂エマルジョン。

【請求項 5】 ラジカル重合性不飽和単量体の 30 ～ 70 重量 % がアルキル基の炭素数が 4 以上のメタクリル酸アルキルエステルである、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の水性樹脂エマルジョン。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

すなわち本発明は、

1. ラジカル重合性不飽和単量体を水性媒体中で乳化重合させた後に、式  $(R^1)_n-Si-(R^2)_{4-n}$  [式中  $n$  は 1 ～ 3 の整数。 $R^1$  は炭素数 1 ～ 16 のアルキル基、シクロアルキル基、アリール基、 $R^2$  は 1 ～ 8 個の炭素原子を有するアルコキシ基、水酸基] で表される非ラジカル重合性有機珪素化合物を加水分解縮合させると同時に光安定剤を水性樹脂エマルジョン中の固形分の 0.1 ～ 5 重量 % の範囲で加えて得られる水性樹脂エマルジョン、

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

2. ラジカル重合性不飽和単量体を水性媒体中で乳化重合させた後に、光安定剤を水性樹脂エマルジョン中の固形分の 0.1 ～ 5 重量 % の範囲で溶解させた、式  $(R^1)_n-Si-(R^2)_{4-n}$  [式中  $n$  は 1 ～ 3 の整数。 $R^1$  は炭素数 1 ～ 16 のアルキル基、シクロアルキル基、アリール基、 $R^2$  は 1 ～ 8 個の炭素原子を有するアルコキシ基、水酸基] で表される非ラジカル重合性有機珪素化合物を加水分解縮合させて得られる水性樹脂エマルジョン、

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

4. 光安定剤がヒンダードアミン系である、上記 1 ～ 3 のいずれかに記載の水性樹脂エマルジョン、

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

5. ラジカル重合性不飽和単量体の 30 ～ 70 重量 % がアルキル基の炭素数が 4 以上のメタクリル酸アルキルエステルである、上記 1 ～ 4 のいずれかに記載の水性樹脂エマルジョンを提供しようとするものである。